

Q. 16 あなたは「夜間当直」をされますか。

1. する 2. しない

Q. 17 Q. 16で「1. する」と答えた方にお尋ねします。1カ月の平均「夜間当直」は何回位ですか。

1. 2回以内 2. 3～4回 3. 5～6回 4. 7回以上

Q. 18 Q. 16で「1. する」と答えた方にお尋ねします。「夜間当直」の翌日はどのようにしていますか。

1. 翌日は半日又はそれ以上代休がある。
 2. 特に忙しかった当直の翌日のみ、少し仮眠をとれる。
 3. 忙しさと無関係に翌日は普通勤務せざるをえない。

Q. 19 あなたの勤務先では週休2日が実施されていますか。

1. 未実施 2. 4週5休 3. 4週6休 4. 4週7休
 5. 4週8休 6. その他

Q. 20 Q. 19で「2. 3. 4. 5.」と答えた方にお尋ねします。その週休をどれだけ消化されていますか。

1. 代休も含めればほぼ全部消化 2. 時々返上 (返上1/2未満)
 3. しばしば返上 (返上1/2以上) 4. 殆ど返上

Q. 21 医療過誤の報告が増えています。医療過誤の原因として、医師の勤務状態との関連をどのように考えますか。一般論としてお答えください。医療過誤は、事故からヒヤリハットまで含みます。(複数回答可)

1. 過剰な業務のために慢性的に疲労している
 2. 患者が多く一人当たりの診療時間、密度が不足がちである
 3. 医療スタッフの連携が不十分である
 4. 医療事故防止システムが整備されておらず、個人の努力に任されている
 5. 医療技術の高度化、医療情報の増加のために医師の負担が急増している
 6. その他〔自由意見〕

.....
.....
.....
.....

Q. 22 医事紛争の経験がありますか。

1. ない
 2. ある (訴訟された)
 3. ある (紛争にはなったが結局訴訟されずに終わった)
 4. その他〔自由意見〕

.....
.....
.....
.....

Q. 23 医事紛争への現状の対応について、診療への影響はどの様に考えますか。

- 1. 安全意識が高まる
- 2. 防御的、萎縮医療になりがちになる
- 3. なんともいえない

Q. 24 平成16年度から開始された臨床研修医制度必須化についてどう思われますか。それぞれに関し、主な理由をご回答ください。

1. 良い点〔主な理由：

.....
.....
.....

2. 悪い点〔主な理由：

.....
.....
.....

Q. 25 今後の大学医学部、医局のあり方についてどう思われますか。

- 1. 学生教育、研究、大学での臨床に限定する
- 2. 今まで通りに関連病院への医師派遣機能をもつ
- 3. 卒後臨床研修は市中病院で行い、将来専門的臨床及び研究を志す者を大学での後期研修として受け入れる
- 4. その他〔自由意見：

.....
.....
.....

Q. 26 あなたはへき地病院に（今後も）勤務したいですか。

- 1. へき地病院に勤務したい
- 2. 条件が合えばへき地病院に勤務したい
- 3. へき地病院には勤務したくない
- 4. どちらとも言えない

Q. 27 主にどのような条件が合えばへき地病院に勤務したいですか。（複数回答可）

- 1. 勤務する期間
- 2. 医師公舎等の生活環境
- 3. 子どもの教育等家庭の問題
- 4. 当直回数や休日の確保
- 5. 各種学会への参加等研修機会の充実
- 6. その他〔自由意見：

.....
.....
.....

Q. 28 勤務医不足の要因について

①その原因（特に関係あると思われるもの3項目にレ印を付けてください）

- 1. 新臨床研修医制度
- 2. 大学の医師引き揚げ（医局制度）
- 3. 女性医師の増加
- 4. 過酷な労働環境
- 5. 病院医療の高度化、細分化による相対的医師不足
- 6. 開業医の増加
- 7. 医局の崩壊
- 8. 開業医との所得格差
- 9. 国民・マスコミの医療への過度な安全要求
- 10. その他〔自由意見〕

.....

.....

.....

.....

②その対策（複数回答可）

- 1. 国が医学部の定員数増、前期研修を含め医師の適正配置に責任を持つべきである
- 2. 都道府県に開業制限、地域別（二次医療圏別の医師配置数・保険医指定等の強制力を持たせる
- 3. 病院の自助努力にまかせる
- 4. その他〔自由意見〕

.....

.....

.....

.....

Q. 29 あなたは将来開業を志向しますか。

- 1. 近い将来（2年以内）開業する予定
- 2. 開業を志向しているが予定は立っていない
- 3. 状況によっては開業することも考えている
- 4. 開業しないつもり
- 5. わからない

Q. 30 Q. 29で「1. 2. 3.」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

- 1. 病院勤務が過酷
- 2. 給与が安い
- 3. 老後の対策
- 4. 職場の人間関係
- 5. 休暇の確保
- 6. 住居地の問題、家庭の事情
- 7. その他

Q. 31 勤務医の地域偏在は何故起こったかと思われますか。

(特に関係あると思われるもの3項目にレ印を付けてください)

- 1. 子供の教育、文化的環境の地域格差
- 2. プライマリケアに関する医学教育の軽視
- 3. 大病院の都市部集中
- 4. 新臨床研修医制度
- 5. 医療政策の貧困による医師の不適正配置
- 6. その他〔自由意見〕

.....

.....

.....

.....

Q. 32 医師を志望した動機と現在の仕事を比較し、初志が達成されていますか。

- 1. 達成している
- 2. 達成していない
- 3. どちらとも言えない

Q. 33 日本病院会を知っていますか。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

病 院 名	
所 在 地	〒
回 答 者	(所属) (役職) (氏名)
電 話 番 号	
F A X 番 号	

ご協力ありがとうございました。

地域医療委員会 委員名簿

会 長	山 本 修 三	神奈川県済生会理事
副会長(担当)	池 澤 康 郎	中野総合病院理事長
委 員 長	林 雅 人	平鹿総合病院総長
副委員長	渡 部 透	新潟南病院院長
委 員	館 田 邦 彦	市立旭川病院顧問
委 員	夏 川 周 介	佐久総合病院院長
委 員	松 本 文 六	天心堂へつぎ病院理事長
委 員	真鍋 克次郎	八幡中央病院理事長
委 員	吉 井 宏	済生会神奈川県病院院長

社団法人 日本病院会

〒102-8414
東京都千代田区一番町13-3
TEL 03-3265-0077